

学会への発表及び他誌への投稿等

● 論文（査読なし）

- 吉澤一家・高橋一孝・池口仁・芹澤（松山）和代・御園生拓・平田徹・森一博・宮崎淳一・芹澤如比古・永坂正夫(2010):自然公園における湖の水質管理に関する総合研究. 山梨県総合理工学研究機構研究報告書, 5, 39-53.

● 学会発表

- 大浜秀規・岡崎巧・青柳敏裕・加地弘一(2010):本栖湖に密放流されたコクチバスの根絶. 平成22年度日本水産学会秋季大会（9月 京都大学）.
- 高橋一孝(2010):セキシウモとコイの関係について. 日本陸水学会甲信越支部会報, 第36号, 49-50.
- Tsuboi, J.: Impact of recreational fishing and the effectiveness of catch and release fishing as a management tool on stream salmonids populations. Advances in the Population Ecology of Stream Salmonids, Abstracts 64, 2010 (Spain).

● 講演, 口頭発表等

- 大浜秀規(2010):溪流魚と堰堤は共存できるのか? ～溪流魚に対する堰堤の影響とその軽減～. 富山県河川流域振興活動実践事業講習会（9月 富山県）.
- 坪井潤一 (2010): 河川における被害対策の考え方と対策. 平成22年度鳥獣保護管理における人材登録事業の運用及び活用事業 カワウの保護管理に関わる研修会（11月 岡山県）
- 坪井潤一 (2010): カワウの保護管理とねぐら除去の位置づけ. カワウの保護管理に向けたねぐら除去実習（環境省主催）（12月 静岡県）

● 研究会等での報告

- 坪井潤一 (2010): アユのマイクロハビタット ～巻き上がる砂礫に注目して～ 平成22年度アユ種苗生産担当者会議（7月 神奈川県）
- 坪井潤一(2010):イワナ・アマゴ在来個体群存続を目的とした絶滅確率の推定. 全国湖沼河川養殖研究会平成21年度マス類資源研究部会（12月 東京都）.
- 岡崎巧(2010):河口湖の流入河川におけるワカサギの自然産卵について. 第15回ワカサギに学ぶ会（11月 前橋市）.
- 芹澤晃彦(2011):山梨におけるカワウの現状と対策. 関東カワウ広域協議会山梨県協議会（3月 甲府市）.

● 試験研究成果発表会 平成23年6月16日（木） 県漁連水産会館会議室

- 青柳敏裕:西湖のクニマスについて
- 名倉 盾:ニジノスケの現状と課題
- 芹澤晃彦:山梨県におけるカワウの現状と今後の対策
- 坪井潤一:センター産アユの継代数の違いによる釣られやすさの比較
- 岡崎 巧:小武川人工産卵河川における産卵状況調査
- 大浜秀規:魚に優しい取水とは?
- 加地奈々:山梨県におけるホトケドジョウの分布と生息地の現状について
- 高橋一孝:山中湖の水質の改善に関する研究

※ 例年3月に開催していたが、東日本大震災の影響により時期をずらした。